

いよいよインタビュープレゼンの本番を迎えました。今回の発表ではここまでの活動にはない新しい取り組みに挑戦しました。一つ目はクラス解体であることです。今回は8クラス64班をシャッフルし、同じクラスメイトが同じ会場内にはいないように組み合わせを作りました。全く顔なじみのない相手にプレゼンをするということで緊張感もありますが、この状況の中でしっかりと自分たちの伝えたい内容を伝えることができるか注目したいところです。もう一つは、総合委員と班長で発表会を取り仕切ることです。こちらからのオーダーは「時間内に全チームに発表させ、評価させる」ということだけです。細かい点については各会場の総合委員と班長で計画しました。果たして、滞りなく発表を終わらせることができるのでしょうか。

実際に発表が始まると、知らない生徒の前であっても、発表者たちは堂々と発表していました。運営のほうも、総合委員と班長が連携して、すべての会場が時間内にすべての発表を終わらせることができました。今回の経験も成長の一步につながったのではないのでしょうか。

今回の発表会を通して、2月に行われる「社会人サポーター講演会」における講師を誰にお願いするかが決まってきます。今年はどんな講師に講演していただけるのか、楽しみに待っていてほしい。



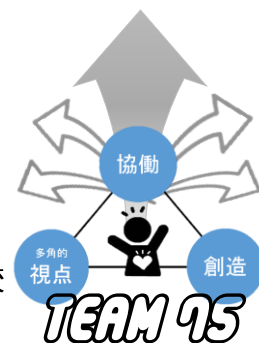
堂々と発表しています。



壇上左の生徒がサポーター役、右が生徒役になり、実際のインタビューを再現していました。

愛知県立名古屋西高等学校

総合学習担当部



GOLD project

-Growing Opinions, Leaders and Dreams-